

## 1. 内外政

- ・25日、フィラト自由民主党党首は、選挙後、他の勢力と親欧州与党連合を作っていく旨発言。
- ・29日、検事総局は、キシナウ空港において、分離主義の印のついた軍服や武器に使う部品を運び込もうとした男性を拘束した旨発表。
- ・30日、ボゴエヴィチ沿ドニエストル問題解決担当OSCE大使は、モルドバ及び沿ドニエストル「共和国」の会合は、議会選挙後に開催される旨発言。
- ・30日、バセスク・ルーマニア大統領は、個人としてはモルドバとルーマニアの統合を強く望むが、それはブルート川の兩岸のルーマニア人が望まなければ実現はありえない旨発言。
- ・30日、欧州議会は、EU・モルドバ連合協定を11月13日に批准する予定である旨発表。
- ・31日、ベラルーシ動植物衛生監督庁は、11月1日からモルドバ産食用肉及び加工品の輸入を一時的に止める旨発表。

- ・31日、ゲルマン外務・欧州統合相は、モルドバはEUともCISとも協力する意向がある旨発言。

### ▼世論調査

[社会・人口学連盟] (27日付発表)

- ・次の週末に議会選挙が実施された際の投票政党  
共産党:26%、自由民主党:19%、民主党:14%、パトリア(祖国)党:10%、自由党:9.5%、社会党:9%
- ・10月11日から20日にかけて1,063名を対象に調査。

## 2. 経済

- ・29日、モルドバの「経済動向」誌によれば、本年の6ヶ月間で、モルドバワイン産業が26.8%減少、この原因は昨年、ロシアがモルドバからのワインの輸入を禁止した措置によるものと発表。
- ・29日、世銀はビジネス環境2015の最新のランキングにつき、モルドバは前回の78位から63位に上昇した旨発表。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。  
(了)